

『お泊り保育終了後のアンケートより』

- ◎事前に個人懇談もあり、安心して参加させることができました。
色いろな体験ができて楽しい思い出になったことと思います。
- ◎帰ってきた時はなんともなかったのですが、我慢をしていたようで寂しかったと寝る前に号泣でした。しっかりほめて抱きしめてあげました。
- ◎きっぷノートで配信をいただいたので、今どうしているかわかり安心でした。もう少し写真の量が多かったら良かったです。
- ◎雨の中色いろな対応や配慮など、想像がつかないくらい大変だったと思います。そんな中安全に元気な姿で帰って来たことを嬉しく思いました。先生方本当にありがとうございました。
- ◎坂町の5年前の大雨水砂災害のことが頭を離れず、日程もその日に近く、本来なら心配をしなくて良いことが不安でした。命を守る為、参加させない選択も考えましたが、梅雨の時期の日程を調整してほしいと思いました。
- ◎お泊り保育に参加できるまでに成長したんだと嬉しいような、寂しいような気持ちでした。帰ってきた時は家族みんなが揃う嬉しさを噛みしめました。弟は「〇〇帰ってきて欲しい!」と言っていました。
- ◎楽しかったこと(子どもたちが主に家族にお話したこと)
①芝滑り ②キャンドルサービスでいろんな園のお友だちと遊んだこと(あの橋がおちたら・キャンプだホイ) ③一緒に寝たこと
④カレーや豚汁をいっぱいおかわりしたこと ⑤花火 ⑥大きな温泉に(お風呂)に入ったこと ⑦カエルや虫をみつけたこと
- ※帰宅後保護者の皆様が、子ども達に向き合い、しっかり話を聴いてくださった様子が、ご協力いただいたアンケートからも伝わってきました。子ども達は、何よりも嬉しかったことでしょう。お友だちの存在とともにご家族への思いも強まった時間だったようです。
- ※基本的な生活習慣の自立にはまだまだ課題のある子どもさんもおられましたので、就学までの期間に家庭と協力しながら、不安な部分を自信へと高めていけたらいいですね。

『お盆中の給食中止について』

お盆中の登園調査にご協力ありがとうございました。8/14(月)、8/15(火)、8/16(水)は離乳食以外の給食の提供はありません。登園の場合は愛情弁当のご協力をお願い致します。

令和5年8月の保育園だより NO. 1

『環境を通して学び合う子ども達』

～教えるから学ぶへ～

長い梅雨が終わったら熱中症警戒アラートが毎日のように出され、子ども達も園庭や戸外でのあそびが長時間できないなどの問題もあり、あそび環境の工夫が必要だと感じているところです。

一方感染症の情報としても保護者の皆様のコロナ感染(陽性)の報告を受けたり、子ども達のRSウイルス、アデノウイルス、溶連菌感染症など夏の感染症も報告が相次いでいます。また診断名はついていませんが、急な高熱、下痢、嘔吐などを伴う風邪と診断されるケースも多く報告されています。高熱が下がったとしても24時間はお休みをされるなど、体力を消耗する時期だけに、体調管理には家庭でも保育園でも気をつけていきましょう。

先月年長さんは、大型バスで一時間余りの所に在る、広島市青少年野外活動センターでのお泊り保育に、小屋浦みみょう保育園、すいこう認定こども園の年長さんとともに参加しました。梅雨明けは期待できず、ご家族の皆様には警報など出ないかなど、ご心配をおかけしたかとは思いますが、子ども達はいろいろな場面で逞しさをみせてくれました。

雨の中、レインコートを身に付けた子ども達は一目散に蓮の咲く沼地に駆け寄り「カエル見つけた!」と虫取り網で上手に数匹捕って見せ合ったり、移動する時間になると捕まえた元の場所に返してあげたりしていました。「カエル見つけた!」という声の方向に子ども達が群れて移動する姿がとても楽しく笑ってしまいました。

晴れ間には、芝滑り、飛行機飛ばし、シャボン玉あそびなどに試行錯誤しながら挑戦したり、事前交流で顔なじみになったお友だちとキャンドルサービスを一緒に体験し、ゲームコーナーでは笑顔と歓声が響きました。

ちょっぴりご家族のことを思い出し寂しくなる就寝時にも、涙を拭くお友だちを心配し、そっと手をつなぐ光景も目にしました。

日常とは異なる自然や環境の中で「その時どうする!」の状況判断の連続をお友だちと一緒に体験した子ども達は、お友だちの存在をより意識できたことでしょう。

私たち大人が何を教えるかというよりは、友だちとの関わりを通して、どのように学ぶかという学びの質やどんな力が身についたかという学びの成果が重要になってくるのだと思います。

夏は毎年保育士を目指す実習生を数名受け入れています。先月実習をした学生さんが部分実習をするにあたり、年長さんに「砂絵」を体験させてみたいとのことで、江田島の砂浜まで行き、ふるいにかけた細かなサラサラの砂を準備していました。年長の担任のアドバイスもあり、園庭のコーナーのタライの中に砂を入れて置き、子ども達がどうあそび始めるのかを観察することになったようです。

実習生の意図やねらいとは全く違い、タライの中に入って手や足で感触を確かめる子もいれば、透明の容器に砂をすくって入れた後、水を少しずつ入れて浸透具合(砂と水のマーブリング状態)を確かめる子もいれば、砂の入ったカップ同量の水を入れ、二層にくっきり分かれる状態を見て「この水なんで透明なんじゃろう?」と不思議がる子(砂場の砂や築山の土は水を混ぜると濁るとい知識がある)、お弁当箱に練ったお団子を並べて入れる子(崩れかけてはいますが水のかげんをする技能がある)など様々な反応でした。

子ども達は実習生や保育士が想像する以上の反応とそれぞれの学びを体験したようでした。

8月は、水プラス様々な素材(自然物・絵の具・石鹸・紙・廃品など)や道具(玩具・日用品など)で開放的に遊ぶ子ども達が、その環境の中で、何をどのように学び、どんな力をつけているのか、保小中連携の中で、坂小学校の先生方が6名、保育体験に来園される日もありますので、「環境を通して行う保育・教育」について語り合いたいと思っています。(園長 倉本弘子)

坂みみょう保育園

夏まつり会(全児)

夏まつりの行事を2部に分けて開催致します。参加人数制限はありませんのでご家族でご来園ください。

各コーナーで遊んだり、くじ引きをしたり、地域の方に教わった盆踊りを楽しんだりなど、ご家族と一緒に夏のおそびを楽しみます。

事前アンケートで希望の時間帯の調整をしておりますので、決定しましたらお知らせいたします。

来園時には、必ず水筒(お茶)や飲み物など、各自暑さ対策をお願いいたします。

日時: 8月5日(土) 雨天決行
1部 午後4時00分~5時10分
2部 午後5時20分~6時30分

※送迎以外の駐車場の利用は不可です。
※感染症など体調の悪い場合は参加を控えてください。
※服装は自由(浴衣、甚平なども可)
※クラスカラーの参加カードを必ず持参させてください。一部参加予定(赤ひも)二部参予定(青ひも)となっておりますのでご確認ください。
※坂町内SKY協働センター(かき氷コーナー)地域のお年寄り(盆踊りコーナー)など、地域の皆様との交流も企画しております。
かき氷券は一家族2杯まで無料(さくらんぼ会より)となっております。現金販売もしておりますが、先着(一部・二部とも)120食までです。必要な方は、来園時に受付でご購入下さい。

※都合により参加できない乳幼児は翌週7日(月)体験する予定です。保護者の皆様の参加はありません。(かき氷コーナーはありません)

広島の平和を祈念する日

8月6日(日)は、広島の平和を祈念する日です。(午前8時15分黙とう)

中央階段2F 踊り場の本棚に、命、平和、原爆などの関連の絵本を展示していますので手に取ってご覧ください。

来月4日(月)には、保護者会さくらんぼ会からの依頼で、平和紙芝居の会を開催予定で、中埜房江様をお招きいたします。





令和5年 8月の園だより NO. 2

お泊り保育 芝滑りより

一番人気の芝滑り。子ども達は精力的に何度も何度も芝の斜面を滑るあそびからたくさんのことを感じ、学ぶ姿が身られました。
「また来たいな！」

「ヤッホー！！」板状の段ボールそりは、身体を左右に揺らしながら、スピードを調整！『ヨーイ！スタート！』の掛け声とともに競争にも発展。先端に付けた紐と身体で上手に止まる方法を見つけています。
身体を動かすことで色いろなバランスを身に付けたね。



立体的な段ボールボードは、二人の重みとスピードに負けてしまって大破。『へっちゃら！へっちゃら直せばいいもん。』笑い声と笑顔がはちきれんばかり。修正しつつ何度も挑戦。お友だちっていいね。



「大丈夫。私が引っ張ってあげる！」とお友だちに助けってもらっての初挑戦。お友だちの存在がやる気スイッチへONとなり、繰り返し挑戦して一人で滑れるようになり得意顔。自分の役割も感じる事ができたね。



回転したその先にはどろどろの泥のコーナーがむき出しに。それを避けようと回転しながら段ボールのそりの止め技も習得。大人のヘルプは、いらなかった！難しい事にも立ち向かったね。

